

大気汚染が及ぼす健康被害

「大気汚染が及ぼす健康被害」の連載にあたり

とう じょう なお こ
東 條 尚 子
Naoko TOJO

昨年、中国から飛来するPM_{2.5}に強い関心もたれ、大気汚染が及ぼす健康への影響や健康被害が大きな話題となった。大気汚染物質とは、大気中に存在する有害な物質の総称で、代表的なものには、二酸化窒素、二酸化硫黄、光化学オキシダント、一酸化炭素、浮遊粒子状物質がある。その他にも、大気中に存在し、健康に影響を及ぼす物質には粉塵、黄砂、花粉など様々なものがある。また、タバコの煙は室内空気の主要な汚染物質である。これらが私たちの健康にどのように影響を及ぼしているのかは大変興味深いところである。

本誌では、微生物学や感染症を中心に、医学検査や食品衛生、環境医学など多岐にわたる分野の話題を取り上げてきた。しかし、大気環境をシリーズとして取り上げたことはない。そこで、今回、大気中に含まれ、健康への影響が懸念される様々な物質を取り上げ、それぞれの領域でご活躍中の先生方に最近の知見もまじえながら解説していただく新しいシリーズを始めることになった。

この企画が読者の方々のお役に立てることを心から願うものである。